

ご使用前に必ずお読みの上、本書を保管してください

# ミニ湯たんぽ **保存用** Econano

- やかん一杯で満タン 経済的な少量タイプ
- お湯で暖房 地球にやさしくエコロジー
- 肌の乾燥やのどの乾きもない 自然な温もりの暖房器具

※容量が小さいため、温度の持続時間は短くなりますのでご注意ください。  
※電子レンジには使用できません。

**MADE IN JAPAN**



■サイズ/約203W×161D×70Hmm  
■容量/780ml  
■材質/本体：ポリエチレン [耐熱温度/110度]  
          キャップ：ポリプロピレン [耐熱温度/120度]  
          パッキン：合成ゴム  
          袋 [中国製]：ポリエステル



**北陸土井工業株式会社**  
福井県坂井市坂井町室領51-25-1 〒919-0512  
◆お客様ご相談窓口 TEL.0776-66-3334

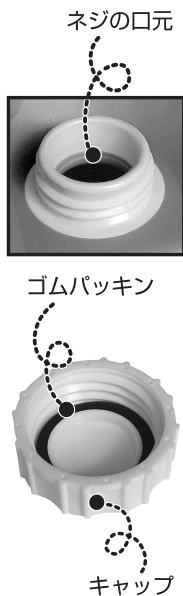
## 使用上のご注意

- キャップにはパッキンを必ず装着してご使用ください。
- パッキンは時々点検し、亀裂などがある場合は交換してください。
- 漏れないことをご確認の上ご使用ください。漏れが生じた場合は使用しないでください。
- 注湯時はやけどに十分注意し、湯があふれても安全な場所（キッチン・洗面台のシンクなど）で行ってください。
- 湯は必ず口元まで入れてご使用ください。湯の量が少ないと、本体の変形・亀裂などが生じる場合があります。
- 注湯時及びキャップ装着時は、湯たんぽ本体も大変熱くなっております。やけどにご注意ください。
- 直接火にかけないでください。溶解・引火の危険があります。
- キャップは確実に締め、漏れがないことを確認してください。
- キャップを「締めつけ過ぎ」ないようにご注意ください。パッキンを傷める原因となります。  
◆お湯の熱で軟らかくなったパッキンがキャップの「締めつけ過ぎ」を起します。
- 長時間にわたり、身体に密着させて使用しないでください。低温やけどになる恐れがあります。
- 必ず専用袋・毛布・タオルなど厚手の布で包んでご使用ください。  
◆破れや隙間等がないことを確認してください。直接湯たんぽに触れ、やけどする恐れがあります。  
◆ファスナータイプの専用袋をご使用の場合、ファスナーの引き具は足から遠い位置にしてください。
- 必ずキャップを上方向にしてご使用ください。使用時に何等かの衝撃でキャップがゆるみ、漏れる恐れがあります。
- ゆたんぽに全体重を掛けて乗ったり、重いものを載せたり、強い衝撃を加えないでください。破損や変形の原因となります。
- 少ない湯量でご使用になって変形した場合、熱湯を口元一杯まで入れるとほぼ元の形に戻ります。
- 火や熱源のそばに置かないでください。変形・溶解の原因となり、使用できなくなる場合があります。
- 使用した湯は絶対に飲まないでください。
- お手入れの際、たわしやみがき粉を使用すると表面に傷がつくことがあります。
- 長期間使用されない場合には本体内の水を切り、屋内の冷暗所で保管してください。
- 直射日光や風の当たる場所に放置しないでください。材質の劣化を早めます。

## はじめて「湯たんぽ」をお使いになるかたへ

### 使いかた

1. キャップを外す。
2. お湯をネジの口元一杯まで入れる  
●お湯が冷めた時に起きる変形を防ぎます。
3. キャップを締める。  
●ゴムパッキンは必ず装着する。
4. 必ず専用袋・毛布・タオルなど厚めの布で包む。
5. キャップを上にして、フトンに入れる。
6. 使用后、フトンから取り出しお湯を捨てる。
7. 内部を乾燥させて保管する。



### こんなとき...???

- Q. 熱湯を入れていいの？**  
**A.** ふつとう直後の熱湯を入れても、問題なくご使用いただけます
- Q. 冷めたら、本体がへこんでしまった。**  
**A.** 熱湯をネジの口元一杯まで入れると、元の形状近くまで戻ります。
- Q. 使用したお湯は？**  
**A.** 使用したお湯は絶対に飲まないでください。
- Q. シーズン後の保管は？**  
**A.** 本体内部を乾かした後、屋内（冷暗所）で保管してください。

ご購入日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

※買い替えの目安は3年です。長期間ご使用されると材質の劣化が進み、思わぬ事故の原因となります。

パッキン交換日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

※パッキンはご使用前に点検し、亀裂などがある場合は交換してください。

# 低温やけどに注意

## 低温やけどについて

**低温やけど**は、心地よく感じる程度（体温より少し暖かい温度）のものでも、皮膚の同じ部分が長い時間接触していると発生するやけどです。

熱いものに接触している皮膚の温度とやけどになるまでの時間はおよそ次のとおりです。

44℃では3時間から4時間

46℃では30分から1時間

50℃では2分から3分

（出典：山田幸生、「製品と安全第72号」低温やけどについて、製品安全協会）



## 低温やけどを防ぐために

布団から出して使用する

布団が暖まったら、ゆたんぽを布団から取りだして就寝してください。

### ゆたんぽの低温やけど対策用品を使う

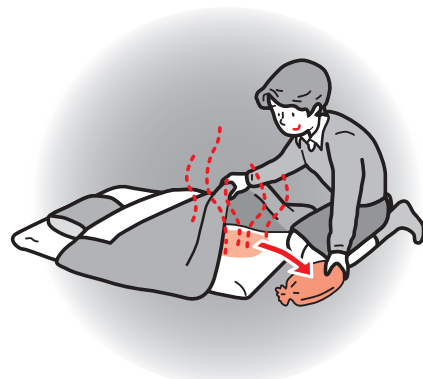
**低温やけど**対策用品が市販されている場合には、それらを使うと**低温やけど**の防止には効果的です。

### 一定時間ごとにゆたんぽの位置を変える

保護者や介護者など周囲の方がいる場合は、身体の同じ部位に触れ続けないよう、時々、ゆたんぽの位置を変えてあげてください。

### 厚手のタオルや布で包む

必ずしも**低温やけど**の防止には効果がありませんが、付属や市販しているゆたんぽカバーを使用し、その上から厚手のバスタオルや布で包むと、表面温度が下がるため、**低温やけど**を生じるまでの時間は長くなります。**低温やけど**は皮膚の深いところまで達することがあります。万が一、**低温やけど（皮膚の変色や痛み）**が起きたときには、すぐに専門医の診断を受けてください。



 このSGマーク商品は製品安全協会の安全基準合格品です。SGマーク制度は、湯たんぽの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

#### ■周囲の方が注意を要する使用者

- 乳幼児、お年寄り、ご病人
- 身体に障害をお持ちの方
- 眠気を誘う薬を服用された方
- 皮膚の弱い方
- 疲労の激しい方、お酒に酔われた方
- ペット など

ご使用前に、反対面の「湯たんぽの使用上の注意」も必ずお読みの上、本紙を保管ください